

バイオテクノロジー標準化支援協会ジャーナル No.019

## SABS Journal No.19

発行日 2009年9月6日(日)

URL <http://www.sabsnpo.org>

---

このメールジャーナルは今までは SABSNO 内部向けのものでしたが、今回も、ひよつとして、少しでも興味を持っていただけるかも知れない方々にも配信を始めることにしました。受信をしたくないと思われる方々は恐れ入りますが、その旨、下記 メールあて先にお知らせください。

このジャーナルのバックナンバーはホームページ(上記 URL)にあります。

### 1) 今日の話は昨日の続き、今日の続きはまた明日。

#### 1-1 free Video lectures

最近、インターネットで、世界の大学、特にアメリカの大学では、図書館だけではなく、**講義**の公開が進んでいます。昔は、留学しなければ聴けなかった先生たちの息づかいまでもが聞こえてきます。学会などでしか聴けなかった先生たちの、日常的な講義が聴ける訳です。また、異なった国の先生方と講義の各章を分担するというタイプの講義もあられつつあるようです。一方には、低開発国向けの教育機会の提供という意味もあるようですが、一つの文化攻勢の一環でありましょう。(この項目は其の内に定例会でも取り上げるつもりでいます。)

日本でも放送大学の講義は、一応聴けるのですが、**何時でも、気が向いたときに、繰り返し聞ける**という訳でもありません。また、日本でも幾つかの大学で無料公開講義の試みはある様ですが、**e-Learning** という意味では、世界の大家勢からは大きく取り残された気が致します。

#### 1-2 ヘルスケア ホーム 検査室(家庭臨床検査室)

**バイオテクノロジー標準化支援協会ジャーナル No.007** で紹介をしましたが、その領域でも、いろいろ開発が進んでいます。赤外線一体温計、尿量測定装置などがその例です。



## 2) 第12回定例会の報告

- ① 出席者9名(会員6名) メール送付先(128名)
- ② 堀江肇さんから香料関係の技術標準化資料の提供がありました。  
(平成18年度標準技術集-"香料"2-2-5 素材/香料の加工技術/包接)
- ③ 香水関係のCD 2種類を配布いたしました。  
このような配布試料の名称は整理して e-alibrary にまとめる予定です。

## 3) 第13回定例会のお知らせ

\*\*\*\*\*

### バイオテクノロジー標準化支援協会 第13回 定例会

\*\*\*\*\*

日時 2009年9月25日(金) 午後2時0分—4時0分

(今回は会員の総会が1時から2時までであります。その後と言う事で、このような時間帯になりました。)

定例会は会員でも会員でなくても自由に出席して、自由に発言も出来ます。

場所 八雲クラブ(ニュー渋谷コーポラス10階-1001号)(首都大学東京同窓会)

(前回の出席者の方から会場の場所が分かり難いというコメントがありました。)

簡単な見つけ方は、まず、“東急ハンズ”を見つけてください。正面から見て左の

辻を入るとハンズの商品の搬入口があります。その入り口の左側がニュー渋谷コーポラスの入り口です。)地図はホームページ ジャーナルの 10 号に載っています。

住所： 渋谷区宇田川町 12-3

電話番号： 03-3770-2214

## 話題

### バイオテクノロジーの標準化 (ANSI の場合)

- 1) SABS ジャーナル 16 号でお知らせしましたようにアメリカの標準規格協会では 2007 年 12 月に“EXPERT”メンバーの募集をしました。
- 2) その狙いがわかりません。既に古くから ASTM にはバイオテクノロジーE48 委員会があり、ヨーロッパでも 1997 年以降、CEN233 委員会が標準化を試み。その結果は AFNOR で標準化され、次第に、EN,ISO へと進みつつあります。
- 3) ANSI の場合、どのような方式で進むのか知りたいと思って担当者 Steven Cornish 氏にメールをしましたがまったく返事がありませんでした。再度メールをしてみました。
- 4) 返事ではこの仕事は USA の仕事なので日本では国内でやるようにということで、日本の担当の人を紹介するということでした。
- 5) 中国では最近標準化に対していろいろの興味を示していますが、インターネットに上記のバイオテクノロジーの標準化の紹介がでています。
- 6) 2008 年 3 月に講演会が開かれ、標準化案を作る日程が記されていますので、そのコピーを上げておきます。2009 年の 9 月が期限です。その講演会の全資料は CD にして定例会場で配布いたします
- 7) 日本では JBA で国際標準化戦略委員会の試みはありましたが、いまは総合的な対策委員会もありません。私たちの SABS がこの領域でのシンクタンク的な役割を果たせれば幸いだと思っています。

## **ANSI PROPOSAL**

### **2. For the process and timeframe for ISO consideration of biotechnology standards**

---

- **First stage (March through September 2008)**
  - **Formation of an ISO task force of experts.**
  - **Collection of a portfolio listing of existing biotechnology standards from all organizations with global reach.**
  - **Completion of an analysis of the portfolio listing by the task force.**
- **Second stage (September 2008 through January 2009)**
  - **ISO members utilize the portfolio analysis and conduct a national-level needs assessment for possible ISO biotechnology standards.**
- **Third stage (January through September 2009)**
  - **The task force reviews the results of ISO member needs assessments and develops final recommendations.**



Slide 5

4) ホームページに e-library のリストがあります。 会員の方はその中から希望のものをご指摘ください。